

## 製品安全データシート

作成日：2008年（H20）06月16日  
最新改訂日：2016年（H28）06月01日

## 1 製品及び会社情報

製品名	ダンケルD
会社名	株式会社 山根商店
	住所 大阪市西区土佐堀1丁目1番19号
	電話番号 06-6448-0007
	FAX番号 06-6448-0017
整理番号	280601DY0003

## 2 危険有害性の要約

## GHS分類

## 【物理化学的危険性】

爆発物	[分類できない]
可燃性又は引火性ガス(化学的に不安定なガスを含む)	[分類対象外]
エアゾール	[分類対象外]
支燃性又は酸化性ガス	[分類対象外]
高压ガス	[分類対象外]
引火性液体	[区分3]
可燃性固体	[分類対象外]
自己反応性化学品	[分類できない]
自然発火性液体	[分類できない]
自然発火性固体	[分類対象外]
自己発熱性化学品	[分類できない]
水反応可燃性化学品	[分類できない]
酸化性液体	[分類できない]
酸化性固体	[分類対象外]
有機過酸化物	[分類できない]
金属腐食性物質	[分類できない]

## 【健康に対する有害性】

急性毒性(経口)	[分類できない]
急性毒性(経皮)	[分類できない]
急性毒性(吸入:気体)	[分類対象外]
急性毒性(吸入:蒸気)	[分類できない]
急性毒性(吸入:粉じん、ミスト)	[分類できない]
皮膚腐食性及び皮膚刺激性	[分類できない]
眼に対する重篤な損傷性・眼刺激性	[分類できない]
呼吸器感作性	[分類できない]
皮膚感作性	[分類できない]
生殖細胞変異原性	[分類できない]
発がん性	[分類できない]
生殖毒性	[分類できない]
生殖毒性・授乳影響	[分類できない]
特定標的臓器毒性(単回ばく露)	[分類できない]
特定標的臓器毒性(反復ばく露)	[分類できない]
吸引性呼吸器有害性	[区分1]

【環境に対する有害性】  
 水生環境有害性（急性） [分類できない]  
 水生環境有害性（長期間） [分類できない]  
 オゾン層への有害性 [分類できない]  
 GHSラベル要素  
 絵表示又はシンボル



注意喚起語 : 危険  
 危険有害性情報 引火性液体および蒸気  
 飲み込んで気道に侵入すると生命に危険のおそれ

注意書き  
 [安全対策] 熱、高温のもの、火花、裸火および他の着火源から遠ざけること。  
 禁煙。容器を密閉しておくこと。  
 保護手袋／保護衣／保護眼鏡／保護面を着用すること。  
 [応急措置] 飲み込んだ場合：直ちに医師に連絡すること。  
 皮膚(または髪)に付着した場合：直ちに汚染された衣類をすべて脱ぎ、皮膚を水で洗うこと。  
 [保管] 施錠して保管すること。  
 換気の良い場所で保管すること。涼しいところに置くこと。  
 [廃棄] 内容物／容器を国際／国／都道府県／市町村の規則に従って廃棄すること。

他の危険有害性 : 消防法 危険物第4類第2石油類（非水溶性）に該当する。

### 3 組成、成分情報

化学物質・混合物の区別 : 混合物

成分及び濃度

化学名	濃度(%)	官報公示整理番号 (化審法・安衛法)	CAS番号
脂肪族炭化水素	非公開	既存	非公開
合成レジン	非公開	既存	非公開
香料	非公開	既存	非公開

### 4 応急措置

吸入した場合 : 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させる。  
 気分が悪いときは、医師に連絡する。

皮膚に付着した場合 : 多量の水と石鹸で洗う。水疱、痛みなどの症状が出た場合は、  
 必要に応じて医師の診断を受ける。

目に入った場合 : 水で数分間注意深く洗う。次に、コンタクトレンズを着用して  
 いて容易に外せる場合は外す。その後も洗浄を続ける。  
 目の刺激が続く場合は、医師の診断／手当を受ける。

飲み込んだ場合 : 直ちに医師に連絡する。口をすすぐ。

### 5 火災時の措置

消火剤 : 粉末消火剤、泡消火剤、二酸化炭素  
 使ってはならない消火剤 : 棒状注水

火災時の特有の危険有害性 : 極めて燃えやすく、熱、火花、火災で容易に発火する。  
 火災によって刺激性、毒性、又は腐食性のガスを発生するおそれがある。  
 加熱により容器が爆発するおそれがある。

特有の消火方法 : 消火作業は、風上から行なう。  
 火災発生場所の周辺に関係者以外の立入りを禁止する。  
 周囲の設備等に散水して冷却する。  
 消火のための放水等により、環境に影響を及ぼす物質が流出しないよう  
 適切な措置を行なう。

消火を行う者の保護 : 消火作業は、風上から行い、有毒なガスの吸入を避ける。  
 状況に応じて呼吸用保護具を着用する。  
 消火作業では、適切な保護具(手袋、眼鏡、マスク)を着用する。

**6 漏出時の措置**

- 人体に対する注意事項、保護  
具及び緊急時措置 : 漏出時の処理を行なう際には、必ずゴム手袋、保護眼鏡、保護衣等を着用する。  
多量の場合、人を安全に退避させる。  
こぼれた場所はすべりやすいために注意する。  
屋内の場合、処理が終わるまで十分に換気を行なう。
- 環境に対する注意事項 : 流出した製品が河川等に排出され、環境への影響を起こさないように注意する。
- 封じ込め及び浄化の方法  
及び機材 : 少量の場合は、おがくず、土、砂、ウエス等で吸着させて取り除いた後、  
残りをウエス、雑巾等でよく拭き取る。  
多量の場合には、盛土で囲って流出を防止し、安全な場所に導いてから処理する。
- 二次災害の防止策 : 付近の着火源となるものを速やかに除くとともに消火剤を準備する。  
火花を発生しない安全な用具を使用する。

**7 取扱い及び保管上の注意****取扱い**

- 技術的対策(局所排気・全  
体換気等) : 取扱いは換気のよい場所で行なう。  
取扱う場合は、局所排気、又は全体換気のある場所で取扱う。
- 安全取扱注意事項 : 情報なし
- 接触回避 : 情報なし
- 衛生対策 : 保護手袋及び保護眼鏡／保護面を着用すること。  
取扱い後は、手、顔等をよく洗い、うがいをする。

**保管**

- 安全な保管条件 : 保管場所には、必要な採光、照明及び換気の設備を設ける。  
保管場所の床は、床面に水が浸入／浸透しない構造とする。  
換気のよい場所で容器を密閉して保管する。  
消防法に定められた保管を遵守ください。
- 安全な容器包装材料 : 製品使用容器に準ずる。

**8 暴露防止措置及び保護措置**

- 設備対策 : 蒸気又は煙やミストが発生する場合は、局所排気装置を設置する。
- 許容濃度  
管理濃度 : 設定されていない。  
許容濃度-日本産業衛生学 : 設定されていない。  
許容濃度-ACGIH : 設定されていない。
- 保護具  
呼吸用保護具 : ミストが発生する場合は呼吸用保護具  
手の保護具 : 保護手袋、ゴム手袋  
眼の保護具 : 保護眼鏡(ゴーグル型)  
皮膚及び身体の保護具 : 必要に応じて着用する

**9 物理的及び化学的性質**

- 外観 : 無色透明液体  
臭い : あり  
pH : データなし  
融点・凝固点 : データなし  
沸点、初留点と沸騰範囲 : データなし  
引火点 : 66°C  
燃焼又は爆発の上限・下限 : 上限7%、下限1%(推定値)  
蒸気圧 : データなし  
蒸気密度 : データなし  
比重(相対密度) : 0.74(20°C、代表値)  
溶解度 : 水に不溶  
n-オクタノール／水分配係数 : データなし  
自然発火温度 : データなし  
分解温度 : データなし  
粘度(粘性率) : 2.7mm<sup>2</sup>/s(40°C、代表値)  
その他データ : データなし

**10 安定性及び反応性**

- 反応性 : 情報なし
- 安定性 : 通常の取扱い条件においては安定。
- 危険有害反応可能性 : 情報なし
- 避けるべき条件 : 加熱、高温等
- 混蝕危険物質 : 現在のところ有用な情報なし。
- 危険有害な分解生成物 : 現在のところ有用な情報なし。

**11 有害性情報**

有害性項目	製品GHS分類	主要成分のGHS分類
		脂肪族炭化水素
急性毒性 (経口)	分類できない	分類できない
急性毒性 (経皮)	分類できない	分類できない
急性毒性 (吸入: 気体)	分類対象外	分類対象外
急性毒性 (吸入: 蒸気)	分類できない	分類できない
急性毒性 (吸入: 粉塵及びミスト)	分類できない	分類できない
皮膚腐食性及び皮膚刺激性	分類できない	分類できない
眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性	分類できない	分類できない
呼吸器感受性	分類できない	分類できない
皮膚感受性	分類できない	分類できない
生殖細胞変異原性	分類できない	分類できない
発がん性	分類できない	分類できない
生殖毒性	分類できない	分類できない
生殖毒性・授乳影響	分類できない	データなし
特定標的臓器毒性, 単回ばく露	分類できない	分類できない
特定標的臓器毒性, 反復ばく露	分類できない	分類できない
吸引性呼吸器有害性	区分1	区分1

**12 環境影響情報**

- 生態毒性 : データなし
- 残留性・分解性 : データなし
- 生態蓄積性 : データなし
- 土壌中の移動性 : データなし
- オゾン層への有害性 : データなし
- 他の有害影響 : データなし

**13 廃棄上の注意**

- 残余廃棄物 : 都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に委託し、関連法規等を遵守し廃棄すること。
- 汚染容器及び包装 : 都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に委託し、関連法規等を遵守し廃棄すること。

**14 輸送上の注意**

- 国際規制
  - 国連番号 : 1268
  - 品名 (国連輸送名) : 石油類
  - 国連分類 : クラス 3
  - 容器等級 : III
- 国内規制－陸上輸送 : 消防法、毒物及び劇物取締法、道路法等に定められている運送方法に従う。
- 国内規制－海上輸送 : 船舶安全法に定められている運送方法に従う。
- 国内規制－航空輸送 : 航空法に定められている運送方法に従う。

輸送の特定の安全対策 及び条件	: 関係法令の定めに従う。 輸送前に容器の破損、腐食、漏れ等がないことを確認する。 転倒、落下、破損がないように積み込み、荷崩れの防止を確実にを行う。
緊急時応急措置指針番号	: 128

---

## 15 適用法令

化学物質排出把握管理促進法	
[第一種指定化学物質]	: 非該当
[第二種指定化学物質]	: 非該当
労働安全衛生法	
通知対象物質	: 該当しない
表示物質	: 該当しない
毒物及び劇物取締法	: 該当しない
消防法	: 危険物第4類第2石油類（非水溶性）
危険物船舶運送及び貯蔵規則	: 引火性液体類
水質汚濁防止法	: 油分排出規制
下水道法	: 鉱油類排出規制
海洋汚染防止法	: 油分排出規制
廃棄物の処理及び清掃に関する法律	: 産業廃棄物規制（拡散、流出の禁止）

---

## 16 その他の情報

### 引用文献

- ・ JIS Z7253:2012 GHSに基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法
- ・ GHS対応ガイドライン ラベル及び表示・安全データシート作成指針（日本化学工業協会）
- ・ 脂肪族炭化水素の安全データシート（原料メーカー）

この情報は、新しい知見に基づき改訂されることがあります。

記載内容は現時点で入手できた資料・情報・データ等に基づいて作成しておりますが、含有量、物理・化学的性質、危険・有害性等に関しては、いかなる保証をなすものではありません。  
また、注意事項は通常の取扱いを対象としたものなので、特殊な取扱いの場合には、用途・用法に適した安全策を実施の上、ご利用ください。

改訂履歴	: 作成日：2008（H20）年06月16日 最新改訂日：2016（H28）年06月01日
------	--